

学習課題(中学校1年生)

【理科】

<学習内容> 「語る大地」

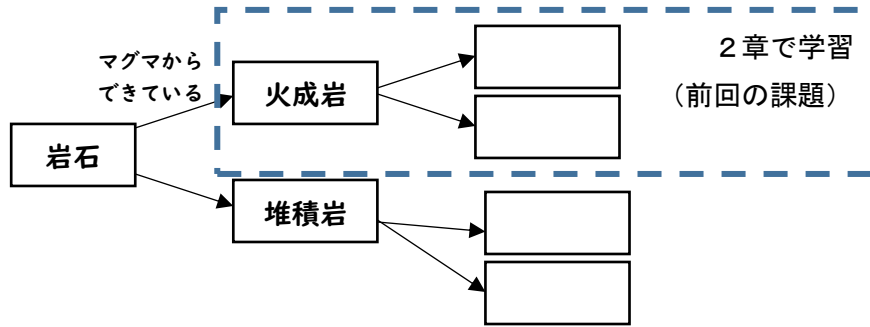
○教科書「地層のでき方 (P102～103)」「地層の岩石 (P104～106)」「地層・化石と大地の歴史 (P107～113)」を読んで、地層のでき方や広がり方と、堆積岩の特徴について考え、まとめてみよう。

<取り組み方>

- (1) 教科書 P102～103 を読んで、岩石から土砂ができて、それらが積もって地層になるまでの流れについて考え、下記の言葉を用いて、図や言葉でまとめよう。
【風化、侵食、運搬、堆積】
- (2) 「扇状地」「三角州」について、その共通点や違いに着目しながら、図や言葉でまとめよう。
- (3) 教科書 P104～106 を読んで、堆積岩の種類と特徴について、マインドマップなどを用いて、それぞれを関連付けながらまとめてよう。
- (4) 教科書 P107～109 を読んで、示相化石と示準化石とは、それぞれどのような化石か、具体的な化石の例を挙げながらまとめよう。
- (5) 教科書 P110～111 の「観察3」を読んで、P111 の「考えてみよう」について取り組もう。
- (6) 教科書 P113 の「考えてみよう」の①、②について取り組んでみよう。

<学習のヒント>

- (1) NHK for school の ACTIVE10 「地層」を視聴するのもよいでしょう。
https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005110125_00000
- (2) 札幌市中央部は、豊平川と発寒川が形成した扇状地です。真駒内付近を扇頂として北方に広がっています。インターネット等を利用して札幌市の地形や地質について調べてみるのもよいでしょう。
- (3) 前回の学習課題 (29_中1理科「火をふく大地」) でマインドマップを作成した人は、続きとして取り組んでみましょう。「岩石」と「火成岩」を線で結んだように、「岩石」と「堆積岩」を線で結んでみましょう。「堆積岩」を整理する視点には、「粒の大きさ」「生物の遺骸」「火山灰」などがあります。粒の具体的な大きさを、生物の種類や成分 (教科書 P106 「表1」参照) に注目しましょう。



- (4) 示相化石は当時の環境を、示準化石は年代を推定することができます。それぞれについて、表などを用いてまとめましょう。なお、地球が誕生したのは今から約46億年前となります。教科書P108の「図56」のように、46億年の長い歴史を12時間の時計に表したとき、「人類の出現」はかなり現在に近い時間であることに注目しましょう。
- (5) ①「火山灰」や「泥」など鍵層になりそうな層から結んでみましょう。
②花こう岩はマグマがゆっくり冷え固まってできた火成岩であること、川の流水によって、神職や運搬、堆積が行われていることに注目しましょう。